

ガソリン税は、あなたの街と暮らしを守っています。

ガソリン税などの道路特定財源は、真に必要な道路を整備することはもちろん、過去の道路整備の借入金返済や除雪などに使われています。さらには、暮らしの安心・安全を守るためにも有効に活用されています。

まだ、こんなにも



慢性的な渋滞

日常的に混雑している交差点は、
約**9,000**箇所もあります。



危険な通学路

事故の危険性が高い通学路でも、歩道がない箇所は、
約**4.4**万kmも存在します。



老朽化する橋

建設後50年以上経過した橋が現在、
約**8,900**橋もあります。



開かずの踏切

1時間に40分以上遮断している踏切は、
約**600**箇所もあります。



緊急医療体制

生活幹線道路で、救急車がスムーズに走行できない箇所などの支障区間が、
約**5,000**区間(約13,000km)も存在します。

国土交通省「道路の中期計画(素案)」より

暫定税率の廃止は、 地方財政に大打撃。

ガソリン税などの道路特定財源の暫定税率を廃止すると、確かにガソリンは25円安くなりますが、地方自治体は国からの交付金を含め、1兆6千億円もの収入がなくなってしまいます。地方自治体の財政は大打撃です。

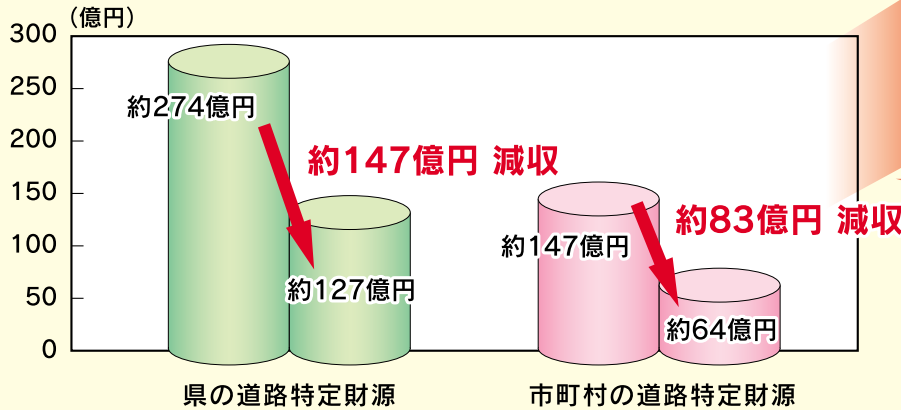
これでは、道路整備だけではなく、福祉や教育など行政サービスへの影響も計り知れません。

暮らしに安心。
自民党
www.jimin.jp

道路特定財源が安全・安心を守ります!

富山県の道路特定財源の試算結果

● 暫定税率の上乗せ、臨時交付金が無くなると・・・



県が147億円
市町村で83億円

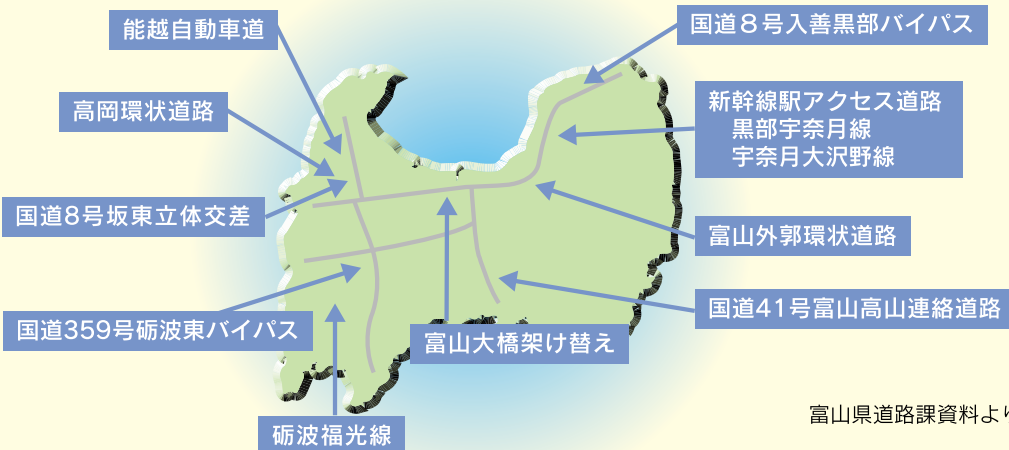
県全体で
230億円が減収

えっ、これで
大丈夫なの？

減収になれば、本県の道路整備は・・・

- ① 現在事業中の箇所は完成が**大幅に遅れ**、事業を**休止**せざるを得ない箇所も多く発生します。
- ② 新たな事業に着手することは不可能になります。
- ③ 除雪等の維持管理もままならなくなることなど、**危機的な影響を与えます。**

暫定税率廃止により影響を受ける主な県内道路



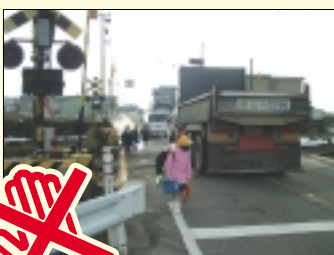
富山県道路課資料より



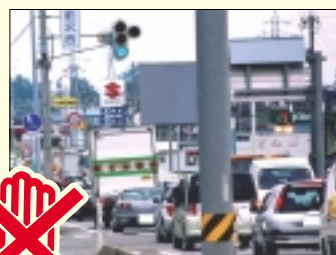
除雪作業が困難に



土砂崩壊で地域が孤立



通学路の歩道整備が進まず安全が確保されない



交通渋滞がいつまでも解消されない

